

## 第1回境港市総合計画審議会会議録

□ 日 時：令和3年3月24日（水）午前10時～11時30分

□ 場 所：境港商工会議所 大ホール

□ 日 程：

1 開会

2 市長あいさつ

3 委員の委嘱及び紹介

4 議事

(1) 審議会の会長及び副会長の選出について

(2) 次期「境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）」諮問

(3) 次期「境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）」について

(4) その他

5 閉会

□ 出席者（敬称略）

（委員及び幹事）

別紙名簿のとおり

（事務局）

沼倉加奈子（地域振興課長）

北野瑞拡（地域振興課主査兼企画係長） 渡部大樹（地域振興課企画係主任）

（傍聴者）

2名

1 開会

（地域振興課長）

定刻となりましたので、ただいまから「第1回境港市総合計画審議会」を開会いたします。私は、本日の司会進行いたします、地域振興課長の沼倉と申します。よろしくお願いいたします。

まず本日の資料の確認をさせていただきます。本日机の上に配布していますのは、審議会委員任命の「辞令書」、本日の「配席表」、です。また、この他、本日の会議資料としては、皆様に事前に配布させていただいた本日の「次第」、「資料」、「参考資料」、前期計画となります「境港市まちづくり総合プラン（第9次総合計画）」の概要版と全文となりますが、皆さんお揃いでしょうか。

それでは、次第に従いまして、会を進めさせていただきます。

はじめに、伊達市長がごあいさつを申し上げます。

## 2 市長あいさつ

(市長)

皆様方には、日頃から市政各般にわたりご支援、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。また、この度は、総合計画審議会の委員就任をお願いしましたところ、快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。

境港市まちづくり総合プランは、本市のまちづくりの方向を定める大変重要な計画であります。本市では、人口減少・超高齢社会・環境問題など大変多くの問題を抱えているところではありますけれども、一方では、漁港・港湾・空港などの機能強化は着実に進んでおります。また、水木しげるロードのリニューアルや弓ヶ浜サイクリングロードの完成など、地域資源の魅力も向上しているところであります。そういう状況を踏まえて、この度の総合計画もまちづくりの理念・基本目標などをしっかりと定めて、その目標実現に向けた具体的な施策もしっかりとりまとめたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。まして、私のあいさつとさせていただきます。

## 3 委員の委嘱及び紹介

(地域振興課長)

続きまして、「次第日程3」の委員の委嘱及び紹介に移ります。

まず、委員の委嘱についてであります。本来であれば、委員の皆様へ直接委嘱状をお渡しすべきところではあります。あらかじめ、お手元に配布させていただいております。ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

続きまして、本日が初めての会議でありますので、委員の皆様から一言ずつ自己紹介をいただけたらと思います。

※委員が一言ずつ自己紹介

なお、本日も都合により、古橋剛様、江尻敏美様、湯尾毅様、坂井敏明様、足立収平様が欠席されておりますので、ご報告いたします。また、本日24名の委員のうち、19名の委員の出席をいただいておりますので、この会が成立しておりますことも合わせて報告させていただきます。

## 4 議事

### (1) 審議会の会長及び副会長の選出について

(地域振興課長)

続きまして、次第日程4の議事に入ります。

初めての会議ですので、まず、この審議会の会長と副会長を決めさせていただきたいと存じます。会長及び副会長の選出について、説明いたします。

参考資料の8ページをご覧ください。

審議会条例第4条第1項では、「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める」となっております。そこでこの互選の方法について、お諮りしたいと存じますが、いかがいたしましょうか。ご発議をお願いいたします。

(委員)

事務局の方から提案してください。

(地域振興課長)

ただいま、事務局提案の旨のご発言を頂きましたが、会長・副会長について、事務局より提案させて頂いて、よろしいでしょうか。

※委員の異議なし

それでは、事務局の方から提案をさせていただきたいと思います。

本審議会の会長に、境港商工会議所 副会頭の松本 正福委員、副会長には、境港市女性団体連絡協議会の足立 光枝委員をお願いをしたいと存じますが、いかがでしょうか。

※委員の異議なし

ありがとうございます。それでは本審議会の会長に、境港市商工会議所副会頭の松本 正福委員、副会長に、境港市女性団体連絡協議会会長の足立 光枝委員を選出させていただきます。会長、副会長には、どうぞ正面の席にお移り頂きますようお願いいたします。

それでは、一言ずつご挨拶を頂きたいと存じます。

(会長)

境港商工会議所の松本と申します。先程、紹介の中で気合を入れていきますとお話したのですが、境港の未来を決めていく、将来像を描く非常に重要な審議会であります。皆様と一緒により素晴らしい境港、大好きな境港のために何とか力になってまとめていきたいと思えますので、皆様方の協力をよろしくお願いいたします。

(副会長)

先ほどご紹介にあずかりました女性団体の会長をやらせていただいております足立と申します。この度、副会長という大役を仰せつかりました。

私のように女性が勇気を出し、何事にも積極的に挑戦できる、このような良い機会を与えてくださったことに感謝いたします。

人間は誰でも生涯にわたって学習が可能であり、変化に応じて自分自身を変えることができるそうです。

失敗も多々あると思いますが皆様のご協力を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

(2) 次期「境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）」諮問

(地域振興課長)

ここで、次期「境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）」の策定につきまして、市長から本審議会に諮問をさせていただきます。

(市長)

本市の今後5年間の市政運営の大きな方向性を定める、次期「境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）」を策定したいと考えます。

つきましては、次期「境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）」の策定について、貴審議会の意見を求めます。よろしく申し上げます。

※市長から会長へ諮問文を渡す。

(地域振興課長)

ここで、皆様にお断りをいたします。市長は、公務のため、ここで退席させていただきます。

(市長)

最後までよろしく申し上げます。失礼します。

(3) 次期「境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）」について

審議会条例第5条1項の規定により、本会議は会長が議長となることとなっております。これからの議事進行は、会長にお願いしたいと思います。

松本会長、よろしくお願いいたします。

(会長)

それでは、議事日程に従いまして、「(3) 次期「境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）」について、事務局から説明して下さい。

(事務局)

事務局をしております地域振興課の北野と申します。座って説明させていただきます。

それでは、私の方から、お手元の資料『次期「境港市まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）」について』に沿って説明いたします。

1ページをご覧ください。最初に計画の策定方針につきましてご説明いたします。

まず、『1. 次期「境港市まちづくり総合プラン」の策定趣旨』についてであります。平成22年度から現在の「境港市まちづくり総合プラン」の形式に変更し、5年間で取り組むべき施策を一定の重点項目に絞り込み、市政運営の大きな方向性を定め、これまで将来都市

像を「環日本海オアシス都市」とし、その実現に向けて取組を進めてきたところであります。一方、人口減少及び少子高齢化の一層の進展に歯止めをかけるため、平成27年度から「境港市総合戦略」を2期にわたり策定し、地方創生に資する施策に総合的に取り組んでいるところでもあります。

本市を取り巻く社会経済環境は、経済の長期低迷、地球環境問題の顕在化などの大きな変化に加え、昨年から続いております「新型コロナウイルス感染症の影響」により、大変厳しいものとなっておりますが、将来都市像の実現と諸課題の解決に向けて、本市の特性を見極めながら、これからの行政運営の指針となる新たな「境港市まちづくり総合プラン」を策定するものであります。

続いて、『2. まちづくり総合プランの性格と位置づけ』についてです。

まちづくり総合プランは、各分野における様々な行政計画の最上位計画として、今後5年間のまちづくりの総合的な指針を示す計画として策定いたします。今回策定する「境港市まちづくり総合プラン」は、前回の計画同様、本市独自の考え方にに基づき、市長公約を基本にアンケートや今後開催予定のワークショップによる市民ニーズなどを踏まえ、今後5年間で取り組むべき施策を一定の重点的項目に絞り込み、市政運営の大きな方向性を定める内容としたいと考えております。加えまして、数値目標の設定や事業費の積算は行わず、具体的な事業の実施については、毎年度の予算編成の中で検討していきたいと考えております。

2ページをご覧ください。『3. 計画期間』につきましては、来年度の令和3年度から7年度までの5年間としたいと考えております。これは、10年、15年という長期計画では現代の社会情勢の激しい変化に対応できないこと、また市長公約を基本に策定することから、短期の計画期間としたいと考えております。

次に『4. 計画の構成』につきましては、今回策定する計画も前回の計画同様に、本市が目指す方向性を明らかにする「まちづくりの基本理念」、「将来都市像」、「基本目標」を示す基本構想「まちづくりビジョン」と、基本構想を実現するために、今後5年間で重点的に取り組む施策の方向性を示す基本計画「まちづくりプラン」の2層構造としたいと考えております。

3ページをご覧ください。『5. 計画審議・策定の流れ』についてです。策定の体制については、市内部の策定組織と、外部組織として本日お集まりの総合計画審議会が策定における協議や審議の中心となりますが、アンケート、ワークショップ、パブリックコメントを通じて市民の方々から幅広く意見を取り入れて進めていきたいと考えております。なお、基本構想「まちづくりビジョン」については、市議会の議決を得る必要がございます。また、この図には掲載していませんが、現在、市の都市計画マスタープランを策定中ですので、そちらとの整合も取りながら進めていく考えであります。

その下になります『6. 策定にあたっての市民からの意見の取り入れ』として、先ほども説明いたしました、市民アンケート、ワークショップ、パブリックコメントを実施致します。なお、市民アンケートについては、昨年11月に実施しており、そのアンケート結果から一部抜粋したものを参考資料の7ページに記載しておりますので、ご参考にしていただければと思っております。今後、5月頃に市民を対象としたワークショップを開催、素案が

固まった段階で、7月頃にパブリックコメントを実施したいと考えております。

4ページをご覧ください。『7. 策定にあたっての基本的な社会経済状況』として、資料に掲げております8つの項目が主な状況となります。冒頭でも触れましたが、人口減少、少子高齢化はさらに進行し、その状況に歯止めをかけ、地域を創生していこうと国と地方が一体となった地方創生の取組が進められ、本市においても昨年2月に第2期の地方版総合戦略を策定し、引き続き取り組んでいるところであります。経済はますますグローバル化し、本市の3つの港は境夢みなとターミナルの完成や高度衛生管理型漁港・市場の整備が進められるなど、日本海側の人流・物流の拠点としてさらなる発展が見込まれるところであります。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、足踏みした状況ではありますが、コロナ禍の収束後に向けて、再度動き出す必要があります。また持続可能な脱炭素社会の実現や海洋プラスチック問題など、地球環境問題への意識が高まっているとともに、全国各地で地震や豪雨などによる大規模災害が発生していることから防災に対する意識も高まっており、それに対応した施策の実施が求められているところです。その他、以前から取組を進めています、市民が主体となった協働のまちづくりのさらなる推進に加え、あらゆる年代・境遇の人々が互いを尊重し合って支え合う共生社会の実現、中海・宍道湖・大山圏域での一体的発展を目指す広域連携のさらなる深化が求められている状況であります。加えて、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、市内の産業や市民生活に大きな影響が及んでいます。また、SDGsにつきましては、「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現をめざす世界共通の目標であり、「ジェンダー平等を達成しよう」、「海の豊かさを守ろう」、「すべての人に健康と福祉を」など達成すべき17の目標については、基本構想(まちづくりビジョン)を実現するための基本計画(まちづくりプラン)の中に、その理念を取り込むこととしております。以上、今回策定する計画はこれらの基本的な社会経済状況を踏まえたものとしてお思います。

計画の策定方針についての説明は以上となります。

続いて「基本構想(まちづくりビジョン)」についてご説明いたします。

4ページ後段をご覧ください。『8. 基本構想(まちづくりビジョン)について』は、先ほど説明いたしました、「基本的な社会経済状況」を踏まえて「まちづくりの基本理念」と「将来都市像」、それを実現するための「基本目標」を示すものであり、市長公約を基本に策定していきたいと考えております。

まず「まちづくりの基本理念」ですが、2つ掲げたいと思います。1つ目に、本市の重要な社会基盤である特定第三種漁港「境漁港」、重要港湾「境港」、国際空港「米子鬼太郎空港」という3つの港や日本有数の水揚げを誇る水産資源、水木しげるロードや本市の特性でもある海などの観光資源を生かした「魅力と活気に満ちたまち」、2つ目には福祉、教育環境の向上に努め、子どもから高齢者まであらゆる世代、障がい者や外国人などすべての人々が、互いを尊重し合い、支え合う共生社会の実現とともに、他の地域との連携による共生や自然との共生を図る「心豊かに、共に生き、支え合うまち」にしたいと考えております。

5ページになります。次に、「将来都市像」ですが、本市はこれまで、3つの「港」と日本有数の水揚量を誇る水産資源、水木しげるロードや海などの観光資源を生かしたまちづく

りに加え、魅力と活気にあふれ、心豊かに、安心して暮らせるまちづくりを進めることで、「環日本海オアシス都市」の実現に向け、着実に歩みを進めてきました。しかしながら、世界規模のコロナ禍に見舞われ、国内外との活発な人の行き交いがなくなるなど、本市にとっても大きな影響がありましたが、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、今後も、本市の特性を活かし、砂漠の中の「オアシス」のように国内外から人やものが寄り集り、笑顔があふれるまちになることをめざし、「環日本海オアシス都市 ～笑顔あふれる 日本一住みたいまち 境港～」を将来都市像としたいと考えております。

続いて「まちづくりの基本理念」と「将来都市像」を実現するために、市長公約を基に5つの「基本目標」を掲げています。

1つ目は「誰もが安心して元気に暮らす支え愛のまちづくり」

2つ目には「「さかな」「鬼太郎」「港」を生かしたまちづくり」

3つ目には「地域を担う人を育むまちづくり」

4つ目には「自然と共に安全で住みよいまちづくり」

最後、5つ目には「未来につけを回さないまちづくり」になります。

これは、この度の市長選挙で伊達市長が公約として掲げられた重要施策であり、基本目標として定めていきたいと考えております。各目標でどのようなことに取り組んでいくかということについては、【分野】として記載していますが、具体的には、次ページ以降で説明する基本計画（まちづくりプラン）の中で示していくこととしております。

続いて「まちづくりプラン」についてご説明いたします。

7ページ後段をご覧ください。基本計画（まちづくりプラン）とは、先ほどご説明しました5つの「基本目標」を実現するために、今後5年間で重点的に取り組むべき施策の方向性を示すものです。体系図としてまとめたものを「参考資料」の1ページに記載しておりますので、ご覧ください。左側が基本構想（まちづくりビジョン）、右側が基本計画（まちづくりプラン）となっており、基本計画（まちづくりプラン）は、具体的施策とその施策の展開方針で構成したいと考えており、策定方針の説明でも述べましたが今回策定する計画では、前回の計画同様、数値目標の設定や事業費の積算は行わず、具体的な事業の実施については、毎年度の予算編成の中で検討していきたいと思っております。なお、具体的施策ごとの内容や展開方針については、次回の会議にてお示しさせていただきます。

つづいてスケジュールについてご説明いたします。

8ページをお開きください。資料に示しておりますスケジュールを基本に策定を進めたいと考えており、この審議会を計3回、その他ワークショップやパブリックコメントなどを行って、8月にはこの審議会から答申をいただき、9月の市議会で議決を得た上で策定完了としたいと考えております。

最後に、別冊でつけている資料についてご説明いたします。

「参考資料」については、境港市まちづくり総合プランの体系図、過去の総合計画の策定状況、本市の人口推計、アンケート結果の抜粋、境港市総合計画審議会条例となっております。そして、前回の境港市まちづくり総合プランの概要版と冊子をつけております。

以上、早足で説明申し上げましたが、事務局からの説明はこれで終わらせていただきます。

この後、説明した内容について、協議していただきますが、基本構想である「まちづくりプラン」に盛り込む内容のうち、「まちづくりの基本理念」、「将来都市像」、5つの「基本目標」については、今回の会議でその内容を固めたいと考えております。その内容を基にして、次回の会議でまちづくりプランとなる部分、「基本目標」達成のための具体的施策とその展開方針についてお示ししたいと思っております。なお、今回事務局から提示させていただいた内容は叩き台として考えていただき、委員の皆様から、「もっとこういう内容を加えるべき」とか、「ここはこのようにした方がよい」というようなご意見をいただき、肉付けなどをしながら策定したいと考えておりますのでご協議よろしくお願いいたします。

説明は以上になります。

(会長)

事務局から、説明をしていただきました。ここからは皆様方からのご意見や要望等々あるうかと思えます。基本的にフリートークでいきますので、どんどん積極的に参加をしていただきたいと思えます。まず、第1号でこういうことを聞いてみたいという方いらっしゃいましたらお願いします。

(委員)

総合戦略推進会議の委員もしております、こちらの計画と重複する部分もあるのですが、問題は人口減少にどこまで歯止めをかけるかに尽きるのではないかと思います。一方、人口減少であっても住みよいまちづくりということができると、労働生産性を高める、端的に言うと年収・給料を上げる、つまりその企業が付加価値をもって従業員に対して報酬を与えていくあるいは報酬を出すというところによって生活基盤が固定します。子育て支援が相当充実しておりますので、その上に境港バージョンを入れていけば、就労人口を増やしていくこと、それから若い女性が働ける場所が、どうしても境港は地域的にサービス産業が少ない地域で、どちらかというと製造業、そして国の出先機関、美保基地自衛隊の関係、美保通信所、高尾山の官舎等々、海上保安部、税関。相当な数の出先機関の職員が港と空港によって境港にはいらっしゃいます。この人数は少しずつ増えていっています。確かに転勤はありますが全体の人数としては変わらないです。要は生産年齢をあげていくということと、それからもう一つは、子育てができる出産年齢といいますが、この辺のところをどうやって担保していくかがこれからの大きな課題であり、これはどの市町村であっても全く同一の問題でないかなと思います。

一方、境港というのは製造業のまちであります。3つの港がありますよという事でインフラの整備は良いんですが、それをどうやって活かしていくというのはなかなか難しい問題であります。人口減少の問題はやむを得ないですが、生産性をあげて、より良いまちづくりができる、まちとなるということを総合計画の中で組み入れていくことが必要ではないかと思えます。

ということは、総合戦略推進会議とバッティングしてきます。したがって、推進会議の中で取捨選択しながらいろんな形で、総花的な問題ではなく各論に入った中での深堀の議論を



していかないと、ただ書いてあるだけで終わってしまうということになりますので、その点を私はしっかりと今後検討して、委員の皆様と一緒に検討していきたいなと思っております。

(会長)

ありがとうございました。より具体的にということ、総論ではなくて各論をしていて、議論を高めていこうということでした。ほかにいかがですか。

(委員)

2つありまして、それぞれのところはきちんとまとまっていて良いと思いますが、「基本目標⑤未来につけを回さないまちづくり」ということで非常に大事だと思いますが、市長の公約通り読んでいくと、これはあくまでも予算とこれからの問題、それを残さないということで、最初の文章についてはどうしても「人づくり」ということで、「人づくり」をマイナスの所ですとよろしくないのではないかと思います。なので「③地域を担う人を育むまちづくり」の方に「人づくり」は回したら良いかと思えます。

その中でもう一つ、境港は過去のものも見ておりますと、協働のまちづくりということをおっしゃっております。協働というのは何かと言いますと、あるものに対してうまく入り込んでいくということです。ところが、これから50歳、60歳になりますと、ふるさとに帰って来る人が増えてきます。今まで教育とかまちづくりというのは、子どもたちや若い世代に向けていたのですが、これからは我々が育っていかなくちゃいけないと思っています。そうすると協働の中に、「参画」というのも入れていただきたいです。まちづくりの会であるとか、女性の会という人たちが参画をしていく、これまでのものを読むと、境港に協働はあって参画はなかったと思います。ですから参画という言葉を入れていただくと、まちづくりにもっと関わりができるのではと感じております。

(会長)

ありがとうございました。参画という素晴らしいご意見をいただきました。そのことにつきまして事務局の方から何かありましたらお願いします。

(総務部長)

市の総務部長をしております築谷と申します。今回お示しました基本目標、それから5つの目標、理念などもご承認いただければ、これからまた各部局に戻してそれぞれの具体的な施策を盛り込んでいくことで、第2回目の会議を迎えていただいて、またその場でご意見をいただければと存じます。

委員からいただきました「参画」という言葉、これは協働というフレーズについては長年境港市が取り組んできておまして、「⑤未来につけを回さないまちづくり」というところで協働のまちづくりについては引き続き推進していくことは述べておりましたが、今いただいた「参画」という言葉を⑤番のところに何とか盛り込んでいきたいかなと思っております。ご意見いただきましてありがとうございました。

(会長)

参画というのは人任せではなく自らが進んでやっていくイメージで、この審議会としては、まさにその方向かなと思っております。その他意見がありましたらお願いします。

(委員)

具体的な話で恐縮ですが、孫守りをしていて遊園地へ行こうと言われますが、遊ぶものがない。確かに市内を見回すと遊具がないという大きな問題があるわけです。令和3年度予算で予算組みされ、保育園の団体の方から何とかしてほしいという要望を出して、それが実現に向かいそうだという話は聞いております。予算がもう出来ているということですが、あそこに行ってみようと言っても遊ぶものがないからダメだと。先程の人口減少の問題でも関連していますが、やはり子育てということをずっと前から謳っておられますが、現実的にはそういう問題を一つ一つ解決していかないといけないので、やって頂きたいなと思います。

それと世帯数は私どもの自治会でも確かに減ってきています。ところが、高齢者が亡くなっておられます、それから施設に入られます、子どもさんのところへ転居します、ということで所帯がどんどん減っているのですが、片方では、流入もありまして、なかなか減らないということが出てきております。先日も私の自治会で、松江市の方から2世帯が新築を建てて住まわれるというような良いこともありました。いかに境港が住みやすいかというまちづくりをやっていかないと、それに結びつかないのではないかと考えております。

(会長)

ご意見に対しての何か事務局からご提案がありますか。遊園地や遊具がないというのは課題があるかと思いますが、全体的なところでお話しいただければと思います。

(総務部長)

委員から子育てと移住定住についてご提言を頂きました。今回5つの目標、理念をにかけていますが、そのところには具体的なことはまだまだ入ってはございませんが今頂いたご意見の中では、①のところは子育ての分野、また④のところは環境都市基盤の分野がございますので、こういったところで現在、令和3年度予算で、空き家対策や移住定住対策の事業もかなり盛り込んでいるところでございます。遊具の点検や設置には企画段階ですが予算措置もございます。具体的な施策としては、①、④のところに盛り込みながらまたご意見をいただけたらと存じます。建設部長の方で何かあればお願いします。

(建設部長)

「子育て」というキーワードの中では様々な支援策に加えて、公園の遊具のように設備が整っていることが重要だという事です。実は、遊具に関しましてはここ数年、賛否がございまして、怪我や事故が起こることが全国的にありまして、遊具の増設を控えていた事例があります。それで、今年度補正予算から、まずは大きな公園から大型遊具の設置ということに舵を切りましたので、実際に子育てをしてもらう上で、公園で子どもたちが遊ぶことが重要

ですので、それについては今後、計画的に遊具の増設はしてまいります。ただ一方で、子育て支援の方々の団体にもお話をさせていただいたのですが、どうしても怪我がついてまわりますので、それぞれの役割を持っていただいて、見守るという事をやっていただきながら、きちんと遊具の維持管理を進めていくということにしております。

(会長)

ただ単にモノを作るということだけでなく、いかに管理をしていくか、見守るという言葉も出てきました。

(委員)

今、子育ての問題や遊具の問題もあります。今日は子育ての会長さん来られていますし、女性団体の会長さんも来られています。あるいは民生委員の方も来られています。現状の中で、境港市で何に困っているのか、何をしてほしいのか、あるいは今後どうすればいいのかというような意見を私個人としてはお聞きしたいなと思っております。

(会長)

具体的なニーズの把握ということですね。

(委員)

子育て会議などでお母さん方からどういう意見が出ているのか、その辺のところをお話していただけたらと思います。現場を知っている人が一番分かっているわけで、私たちは概念的なことは分かりますが、実際、どうなっているのか、世代間の問題もありますし、そういったところをこの会議でも話し合っていけたらなど。

(会長)

そうしますと、子ども子育て会議についてよろしく申し上げます。

(委員)

境港の子ども子育て会議を今年度3回行ってまして、方向性を探っています。出生数は確実に減ってまして、当然、施設の再編、公立と私立とありますが、同じ数というわけにはいきませんので、施設の数減らして行って、なおかつ未満児だけの保育園というのも残ってまして、民間保育の施設の方になるべく切り替えていこうじゃないかというところですね。やはり保護者に対しての利便性というのも当然、未満児の保育園に子どもさんを預けていますと、3歳になってからは別の保育園も探さなければならないという問題もあるので、その辺を大切に切り替えていくことを話しておりました。境港市は、子育て支援課以外の他の課とも連携していろいろなサービスを総合的にずっと取り組んでいっております。ただやはり保育料もこの辺でも一番安いという事で、いろんな面で総合的に取り組んでおられますが、出生数・子どもの数は減少していているということが問題となっております。

(会長)

ありがとうございました。事務局の方から何かご回答ございますか。

(福祉保健部長)

子育て支援の環境改善については、仰るとおりでして、その辺のところを子ども・子育て会議で協議しているところです。一貫保育の充実、保育の質の向上、そして、人口・子どもの減少に伴うやむをえない園の再編、こういったことを中心にご提言を頂いています。令和3年度から実現に向けて取り組んでいくというところでございます。

(委員)

境港市にひとり親の方がかなり多いと聞いておりますが、その辺のところの現状を境港市の民生児童委員さんにどういう風な現状なのかを聞いてみたいと思います。

(会長)

そうしますと、よろしいですか。

(委員)

個人情報保護の関係がありまして、民生児童委員自体、どこのお宅に子どもが住まれているか現状がなかなか把握できないため、私たちも困っているというところであります。7地区それぞれ2人ずつ民生委員・児童委員が配置されているんですけども、先ほど言いましたようにどう手助けをしたらいいか、どう見守っていったらいいかが分からないところです。

虐待の数もものすごく増えておりますが、そういうことをいち早く察知する、気づいたらさりげなく見守るというやり方しかできないのが現状です。市内でも決して虐待がないわけではないですが、境港市では、人口も少ないですし、子育て支援課さんの方が手厚く、生まれる前からしっかり見て下さっている関係で、私たちは関係機関に繋ぐということが役割になっていまして、実際には子どもさんに問題を抱えておられる家庭ですとか、子どもさんにとずっと付き添っていくということは現状ではありません。

(会長)

社会福祉協議会さんは何かございますか。

(委員)

子育てについて、ひとり親家庭など細かいところは分からないので、勉強して後日お答えできるようにしたいと思います。

(会長)

ありがとうございました。これにつきましては、非常に重要な問題だと思います。事務局の方で、市の方向性など確認したいと思います。よろしく願いいたします。

(福祉保健部長)

ひとり親家庭ということですが、実は私も今どのくらいの割合かということは、把握はしていないというところでもあります。いろんなご家庭がある中で困り事ですとか、そういうことにつきましては地域の中でも、個人情報でなかなか踏み込めない状況でもあるんですけど、民生委員さんですとか社協などと連携して、問題に当たれたらと思います。

お子さんのことですが、児童虐待などの言葉もありましたが、市の方で乳幼児健診というのをしております、6か月、1歳3か月とこういうところで定型にお子さんもですが、親御さん含めて家庭環境を観察して、そこで何か困ったことがあればその問題を解決に向けて、健康推進課と子育て支援課というところが協力して解決に向けて取り組んでいるというところではあります。

(会長)

教育関係ということで小学校・中学校等の状況はどうなのかというところを合わせてお伺いしたいと思いますが、その辺りはいかがでしょう。例えばいじめの問題であったりとか、子育てをしていく中でいろんな悩みをお持ちの家庭もあるのではないかと思いますけども、その辺りについてご説明いただきたいと思います。

(教育長)

教育長の松本でございます。子どもを取り巻く状況といいますと、いじめや不登校など学校教育が抱えてきている課題でございます。いじめにつきましては境港市の取り組みとしては、非常に初期の段階から、いじわるとか、からかいなど小さなトラブルから対応していく、そして深刻ないじめ問題に発展しないようにというような方針で対応しております。その関係でいじめの件数は非常に多く、事例を捉えながら対応するという方針で今取り組んでいます。

不登校児童生徒の推移ですが、鳥取県全体・日本全体で不登校の数は非常に伸びてきています。一方、境港市の不登校の数は減少傾向でございます。ただ今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が出まして、市内の不登校の数は非常に増えています。

それから、家庭環境の話がありましたが、ひとり親家庭などの環境に限らず、今市内の状況として、児童クラブに通う児童が非常に増えています。それは男女共同参画というような動きの中で、子どもたちが放課後1人になるというような状況があって、学校の教室を使ってそういう子どもさんを受け入れているわけですが、部屋が満杯で入りきらないというような学校も出てきております。今後、こういった子どもさんへの対応というのが問題になってくるかと考えております。

(会長)

ありがとうございました。

境港は「さかなと鬼太郎のまち」ということでありますけれども、去年の水揚げ量は65%、それに対して水揚げ金額85%ということで、本当にコロナの影響というのが大きいという

現状であります。

視点を変えまして、境港市の農業等について農業委員会からお願いします。

(委員)

境港市の農業は専業農家さんが非常に少なく、兼業農家の方が多いです。皆さんも道路を通られて分かると思いますが、荒廃地がすごくあります。昔、田んぼだったところはみんな木が生えています。木が生えているところは、みんな田んぼだったと思っていただければいいです。土地がありますと、不法投棄でいろんなものを捨てている方もあります。そして、そこには土地の所有者が分からないという問題があります。登記がちゃんとスムーズに行われていなくて、調べようにもずっと遡らないといけないのと、近くにおられなくて探せないという事もあります。

それと、今一番案件が多いのは太陽光発電です。農耕地に太陽光を設置するというのがすごく議案の中で出てきています。やはり、農業は守っていかないと、とてもじゃないけど次世代に繋げられないのではないかと、それを一番危惧しております。日本の農業は自給率が世界の中でも最低の方だと思います。もし、人口が増えて食糧難になったときに、自給率が悪いとコロナなどのワクチンが回ってこなくなるのではないかと。やはり守っていかないと。それは境港だけでなく日本の全部に言えることだと思います。

それともう一つ農業の分野ではありませんが、まちづくりは人がいないとできないと思いますので、ぜひ境港市で人口を増やしていく政策をしていかないといけないです。先程お話の中で、公務員が多いということをお森さんがおっしゃっていましたので、公務員の方は日本国中から来られるわけですから、ぜひ米子市ではなく境港市に住んでもらえるような政策をしていただきたいと思います。

(委員)

かなりの部分は境港の官舎の中に住んでいます。今度配置されます空中給油機の関係もほとんど境港に住みますので、転入者はかなり増えると思います。一機当たり 15 名から 20 名くらいというセットですので、それが最終的に 4 機になれば約 80 名が来ます。そしてその家族も来ます。逆に、訓練飛行、要はパイロットの訓練をするための人が浜松基地に越しますけど、これは独身者がほとんどですので、ここは減ってきてても 2, 30 名で、隊員だけでも 5, 60 人以上は来ますし、その家族が約 80~100 名くらい増えるんじゃないかと、それも境港市で住んでいただくように、市の方でも協力をお願いするという風になっています。

ただこれはあくまでも基地の話であって民間の方については、夕日ヶ丘なんかは、かなり家は建ってきていますから増えてはきているのですが、なかなか難しいです。どんな特徴で増やしていくかということになるんですが、先程言いましたように、企業の問題ですから、給料上げればいいのかというわけにもなりません。そうするとボトムの部分の中のどこの部分を減らしていくか、やっぱり住宅とか教育費とかそういうものが他市よりも、プライオリティが高いということになると住んでくれる人が多いんじゃないかと思えます。

一方、柏木さんが言われたように個人情報分からない、データも取れないし何をやって

いるかが分からないという事なんですけれども、その辺は市と連携して、個人情報ばかり言って、他方で、親がいじめで子どもを餓死させたということもしょっちゅう新聞で出ていますし、そういう問題が境港市で発生しないとは限らないということになってくると、皆様というよりも、むしろ市の方が中心となって皆様と共に、場合によっては警察と連携して乗り込んでいく、子どもの命を守るんだという強い意志を境港市もそろそろ持ってやってもいいんじゃないかと私個人は思います。

確かに個人情報といいますが、子ども死なせて個人情報とは何なのかということになってきますし、もしそういう事例が出た場合、マスコミはこぞって教育委員会や市やいろんなところを悪者にしていくというのが現代の風潮ですので、そういうものを未然に防ぐために早めに市が中心となって連携して、皆様のようなボランティアを含めた方々と、権力を持った警察権というものを使ってしっかりとガードしていく、セーフティネットを張っていくということが私は必要でないかと思えます。

(福祉保健部長)

委員が言われるように、本当にネットワークというのがチームの中でとても大事だと思います。子どもであったりお年寄りのことも含めて、行政であったり民生委員さんであったり自治会であったり、そういったものが連携をして取り組んでいくということが本当に大事なことだと思っております。その中に当然行政、例えば警察とか権力というものも入ってきてもらうような形でこれまで進めてきたところでありますし、これからも大事なことだという風に考えております。

(総務部長)

前任が子育て支援課におりましたので、補足させていただきます。子どもの関係については、要保護児童対策連絡協議会を境港市はいち早く設置しておりまして、当然その中には境港警察署に入っているいただいて、ちょっとした事案についてもすぐに子育て支援課に連絡が来るようになっていまして、関係機関にすぐ集まっていいただいて対策会議を開いて、虐待などを未然に防ぐという努力をずっとし続けてきております。境港市に関しては虐待の件数については鳥取県内でもかなり安全が守られていて、気になる家庭については、担当の部署がすぐに連絡を取れるようにしております。

生まれてから就学までの切れ目のない支援ということで出産が始まったらおむつ券というものを3か月に1回各家庭に配っております。3,000円の助成ですけれども、お母さんに来てもらうようにしています。その時にお母さんとお子さんの様子を見ながら、どんな関係をしていらっしゃるのかっていうのを境港市は全数把握という形でしておりますので、児童虐待防止について境港市はかなり進んでいるのかなと認識を持っているところであります。

(委員)

システムがきちんとしていることであっても、絶えず見直していくという姿勢が大切で、一旦作ってしまったら、それに言いなりになってしまうということがかなりありますから、

やはりある程度絶えず見直していくという方法をとっていただければと思います。ボランティアの方もいらっしゃるわけですし、その方との連携も大事なことです。もっと身近な声、彼女たちに今聞こえてくる声というのが実際あると思うので、現場を知るものの意見をすくい上げていかないといけないと思います。スキームは作ったけど、それが有効活用できていないということは全国の例でもありますので、よろしくをお願いします。

(委員)

先程、国の公務員が定着するよというお話があって、ちょうどそれに関する意見を申し上げようと思っておりまして、私一昨年の7月に川崎からこちらに引っ越してきました、年2回くらい川崎の方に帰省して、住み比べてみて気づいたことなんですが、こちらは魚やカニが特産物で美味しいお店がたくさんあるんですけども、最初にこちらに来た時にお店とかどんなものがあるのかというのがいまいち分かりませんでした。川崎だと看板が主張していてここにこんなお店がある、と分かるようになっていきます。こちらで派手な看板を出す、と景観の問題もあるので難しいところかなと思うんですが、例えば、外からきた方や、観光客向けのホームページの情報を提示していただいて、どこにどんなスポットやお店があるのか分かりやすく発信していただけると住みやすくなると思います。

人口の推計のところ、将来的に、全国的なトレンドもあってこちらでも減っていく見込みというのがあって、外から人を呼び込むために、市の魅力を大々的にPRしていくことにも力を入れられてはどうかという風に思います。個人的には、境港の売りは何かかなと思ったんですが、一つは安全なまちというところかなと思っております。具体的には災害が少ない、大きな地震が少ない。想定されている大地震がありますけど、例えば南海トラフとか首都直下地震が起きても直接的な被害が見込まれるわけではない。それから、実は国交省は防災官庁でして、大きな台風とかきたら港の施設にチェックに行くんですけども、全国と比べてもこちらの港は台風の被害が大変少ないです。ですので、災害が少なく安全というところが一つです。

最近といえばコロナですけれども、疫病の被害が小さい。これは私個人が感じていることですが、個人の移動が川崎ですと公共交通機関ですが、こちらだと自家用車の方が多く、接触機会が少なくて疫病被害という意味では安心。私は体が丈夫な方ではないので、川崎にいたときは年に1回は風邪を引いて寝込むということがあったのですが、実はこちらにきてから2年間そのようなことが一度もないということがあります。

以上に加えて、川崎と比べてもこちらの住み心地、利便性は高いと感じております。公共交通機関を利用する場合、駅から自宅まで歩かないといけないですが、こちらは自家用車で移動していますので、離れているお店やコンビニとか病院が時間的な意味では十分近場であり、実は私こちらの方が川崎に帰った時より便利だと感じています。ですので、利便性というのもPRしていけるのではないかと感じております。

(会長)

ありがとうございました。



先程、お話のあった件につきまして、私も補足したいのですが、仕事の関係で、相続申告等の依頼を受けます。そうしますと、何代も前に遡らないと所有者が分からないという事案が発生しております。昨年の9月くらいに実際にあったのですが、江戸時代の人の名前がまだ残っている、そして、それを手繰っていかないといけないということで本当に大変でした。

もう一つが、大阪の方の不動産会社の社長さんからちょっとショッキングな話を聞いておりました、かつて不動産は動かない財産であり、それだけ価値のあるということでしたが、こないだまでは負の、マイナスの動産、負ける不動産、今では腐食する、腐る不動産というておりますとお話されておりました。これも緊急の課題だと思います。今、国の動きとして相続等があった場合は登記の義務化ということも言われておりますが、状況としてまだまだこれからということになるのかなと思います。

そして、人口を増やしていきたいというそういう中で、事務局さんに確認しておきたいのですが、夕日ヶ丘の魅力発信ということで、賃借料を払いながら30年払い続けて譲渡するという事を相当前の新聞にも発表されておりましたが、そのことについてご説明いただきたいと思います。

(建設部長)

夕日ヶ丘ですけど、最初に始まったのは分譲地としての販売でしたが、なかなか分譲が進まないというところで、定期借地権という100坪の土地を概ね月5,000円で50年間使える制度で、かなりの人たちにお家を建てていただいて400軒を超えるくらいの1つのまちになってきました。その中で50年間経てば土地をお返しいただくという制度であるんですけど、長年住んでいる方、次の世代も住むという方も徐々に現れてくるということもあって、実際にそれを財産としてお持ちいただけることもできるという制度として進化させました。他の自治体でもやっているんですが、当然土地代も払っていただきますので向こう35年間のローンということで、その分を分割で払っていただければ35年後には土地は自分のものになるという新たな制度を導入したところでございます。ずっと長くこちらに住んでいただくということが一つで、次の世代の方も住んでいただく策の一つということで取り組みを始めたというところであります。

(会長)

建設業協議会の松本会長、今の建設業の状況を一言お願いしたいと思います。

(委員)

建設業は、現場の監督さんと職人さんなど、実際に仕事をする人が何人も必要ですが、こちらも人口減少と関係あるんですけども、なり手がなくなってきていると。建設業者の数もここ30年程でかなり減ったという問題がございます。

(会長)

関連するかと思いますが、廃棄物等々も大きな問題となっております。住みよいまちづく

りにはどうしても欠かせない課題となっております。

(委員)

高松町の自治町会長をしておりますが、空き家の問題が非常に気になっております。高松町でも 200 所帯のうち、20 軒弱ぐらいが空き家になっております。以前、相談がありまして、自分の子どもが帰ってくるので借家を探しており、親としては同じ町内が良いということで、いろんな空き家の持ち主に交渉していますが、一番気になることが、若い人は大きな車に乗っていて、道が狭いということでなかなか良い物件があっても車が入らない。ブロック塀もあって車庫 1 台分しかなく、2 台分ほしいということで、空き家を探している方となかなかマッチしないんですね。空き家を持っている方も、空き家情報バンク等には登録をされていなくて、知った方に貸したいという思いがあるようです。実際に家の中に入って決まるケースもあるんですけど、空き家を利用するという部分で、通常の道が狭いという部分の解消を考えないと、なかなか空き家の利用が進んでいかないのかなと感じております。

それから、廃棄物のごみの関係でも、何年か前は、道にごみが出してあって、それに網がかけてあって、それがカラスや猫に荒らされていましたが、今は、外浜線を走っていますと、ボックスを各自治体で建てておられまして、非常にその辺は綺麗になったと感じております。

(会長)

ありがとうございました。

境港のまちづくりについて、組織として提案されています境港青年会議所からご意見よろしく願いいたします。

(委員)

私が今年度理事長をさせていただくにあたり、理事長所信に、境港の問題というのにどうアプローチしていくか、どう解決していくかという事を書かせていただきましたが、青少年の、子どもたちの問題を挙げさせていただいておりまして、今日も来られておられます松本教育長様等々とお話もさせていただきましたが、コミュニティスクールもそうですが、子どもたちとまちをつくる大人たちが一緒になってまち全体を築き上げていかなければならないのではないかなと考えております。

先程具体的な問題として、ネグレクトでしたり幼児虐待という問題がなかなか見えてこないという意見がありました。昔と比べて、どうしても隣近所の方々の顔が見えてこないというのはすごく怖い部分でもありますし、ここの部分が、あいさつから少しずつ近所の子供たちの関係性が出来ていくことで、防災に繋がったり、取り残さない環境づくりというのが境港市としてもできていくのではないかなと考えております。

違う会議で出てきた言葉ですが、誰でも主役になれる、誰も取り残さないというのが大事かと思えます。どんな子どもであれ、子育て世代であれ、50 代で地元に戻って来られてこれから地元で頑張るという方たちであれ、どんな方でもやりたいことに前向きに、境港というまち全体で、まちづくりを取り組んでいけるようなことを前面に押し出したプランになれ

ば良いと思いますし、また私が組織しております青年会議所の活動においても、こういう部分を子どもたちや大人たちと手を取り合ってやっていけたらいいなと思います。

(会長)

ありがとうございました。

さて、概ね1時間半を予定しておりましたので、そろそろ時間でございます。

ここで、この総合計画審議会についての中身をもう一度確認したいと思います。将来都市像に向けた実現のための5つの目標ということで、「①誰もが安心して元気に暮らす支え愛のまちづくり」「②「さかな」「鬼太郎」「港」を生かしたまちづくり」「③地域を担う人を育むまちづくり」「④自然と共に安全で住みよいまちづくり」「⑤未来につけを回さないまちづくり」。そして、委員からのご意見でもありましたが、「協働」に合わせて「参画」というキーワード、これは非常に重要ではなかろうかと思っております。

その他にこれだけはいっておきたいというようなことがあればお願いします。

(委員)

総合計画を作るにあたって、環日本海オアシス都市という言葉は、かつての中村市長から伊達市長に引き継がれていっております。一方で、環日本海の経済情勢というのが相当変わってきています。対中国、対北朝鮮、対韓国が非常に変わってきている中で、どうやってオアシス都市をやっていくのかというのは政治的・経済的な問題であるのではないかと思います。概念的にオアシス都市としてやるんだということではなくて、より普遍的な、具体的な何かを考えてほしいということ。それから、RORO 船を含めた日本海航路のミッシングリンクについて、今までやってきましたけども、なかなかうまくいかないということだと、企業誘致まで考えた RORO 船の運航の仕方というのをそろそろ考えていかなければならない、それは国交省と境港市、鳥取県が三位一体となってデリバリーセンターみたいな一時確保できるような場所があれば、有益な荷物になります。例えば山形県の酒田港であったら、ユニ・チャームの工場がありますから、これだけでも輸入品と製品の輸出品でかなりのロットが稼げるということになってきます。

そういうことを大前提として、今は難しいかもしれませんが、境港市はここを目標にするんだという、もうちょっと大きいビジョンを考えて総合計画の中に入れてもらいたい。一方で、総合戦略推進会議は細かい部分になりますので、これを踏まえてより具体的に出来ないものは出来ない、やるものはやる、捨てるものは捨てるとういう風になっていきます。

これを見てますと、市はもう少し大きいビジョンを考えていただきたいと思います。青年会議所なんかは、僕らの世代の連中で言ったらとんでもない夢を語っていた。でも、それは夢であっても良いじゃないですか。実現ができないかもしれませんが、本当に、港を生かした夢を語って、もっともっと境港市を大きなまちにしていくんだという、こういうところをもっと提案していただいて、それをこの総合計画の中に入れていただいて、また総合戦略推進会議の中で細かい部分は詰めていく。会長いかがなものでしょう。

(会長)

全く大賛成です。大きな夢を持つ。持たないと実現もしない。そういうことかなと思います。それでは、ちょうど時間になりました。皆様、様々な意見、多岐に渡っていただきました。ありがとうございました。

そうしますと、今回事務局から提示のあった計画の基本構想の部分いわゆるまちづくりビジョンの内容を基に次回以降は、基本計画、いわゆるまちづくりプランの内容を事務局から具体的な提案をしてもらいたいと思います。

その他事務局から何かありますか。

(事務局)

本日はありがとうございました。次回の会議を6月に予定させていただきたいと考えております。また案内をさせていただきます。今回いただきましたご意見につきましては、幹事会等で検討させていただき、次回の審議会には今回のご意見を踏まえた、次期「境港市まちづくり総合プラン」の素案を提案させていただきたいと思います。また、この後もお気づきの点などありましたら、事務局であります地域振興課までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

(会長)

大変長時間にわたり、熱心にご審議いただきありがとうございました。これを叩き台として、より良い境港市の未来像を描いていけたらと思っております。そして、人任せではなく、「参画」これがキーワードとなりました。これをテーマに今後も審議会を進めていきたいと思っております。

それでは、本日の審議会は、これをもちまして終了いたします。ありがとうございました。

## 5 閉会